

関西地質調査業協会行事案内

「東日本大震災における津波被害を教訓として関西の今後の津波防災を考える」
講演会のお知らせ

主催：関西地質調査業協会
協賛：社団法人 地盤工学会関西支部
社団法人 日本応用地質学会関西支部

昨年3月11日に発生したマグニチュード9.0の巨大地震は、その後、想定外と言われる程の大津波を引き起こしました。あれから2年近く経ち、様々な課題を抱えながらも被災地は復興に向けて動き出しています。同時に多方面において震災の検証が行われ、今後の津波防災の教訓とすべく、貴重な提言がされています。

関西地方においては、近年、東海・東南海・南海領域を震源とする巨大地震とこれに伴う大津波が懸念されています。いえ、必ず発生するものとして様々な対策が講じられています。本年は、身近に迫る大津波の特性とこれに対する防災の考え方を講演していただき、さらに防災・減災行政の第一線における取り組みについてお話を伺います。

津波防災・減災について貴重なお話が聞くことの出来る場ですので、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

- (1) 日時：平成24年10月11日(木) 13:00～17:00
- (2) 会場：天満研修センター 大阪市北区錦町2-2-1 TEL 06-6354-1927
- (3) 参加費用：無料
- (4) 定員：100名(申し込み順、定員になり次第、締め切らせて頂きます)
- (5) プログラム

時間	内容	講師
13:10～13:20	開会の挨拶	束原 純 (関西地質調査業協会技術委員長)
13:20～14:50	東日本大震災における津波被害を教訓として関西の今後の津波防災を考える	高橋 智幸 (関西大学社会安全学部 教授)
15:00～16:00	和歌山県の防災・減災対策の総点検	酒井 清崇 (和歌山県総務部危機管理局 総合防災課防災企画 班長)
16:10～16:50	質疑	

CPDH : 3.5

- (6) 申込期限：平成24年10月4日(木)
- (7) 申込方法：参加ご希望の方は右記受講申込書に準じて必要事項を記入の上、申込期限までに FAX、E-mailにてお送り下さい。なお、申込みは「ジオ・スクーリングネット」ホームページ <https://www.geo-schooling.jp/> から可能です。
- (8) 申込先：関西地質調査業協会事務局
〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目14番15号(本町クィーバービル)
TEL 06-6441-0056 FAX 06-6446-0609 E-mail kstisitu@gold.ocn.ne.jp

【案内図】



【アクセス】

- ・JR「大阪」駅から大阪環状線外回りまでひと駅(約3分)。JR「天満」駅から徒歩2分
- ・地下鉄堺筋線「扇町」駅(1番出口)から 徒歩約7分
- ・地下鉄谷町線「天神橋筋六丁目」駅(12番出口)から 徒歩約10分
- ・阪神高速道路12号守口線「扇町」出口より左折(三車線の真ん中を直進)、高速下の道路を道なりに東へ約200メートル。道路左側に天満研修センターの赤い看板が、右側に橋本駐車場があります。

関西地質調査業協会 行 平成24年 月 日

[FAX 申込書]

(担当者)
部 署 氏 名

平成24年度 技術講演会受講申込書

住所	〒		TEL
名称			FAX
参加者	氏 名	所属部署(部・課)	

*会場定員の関係上、当日欠席及び無断欠席なきよう申し込みをお願い致します。